

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	有限会社エス・アイ・ピー ネクストエール小金井本町教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日 ~ 令和7年 2月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日 ~ 令和7年 1月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムを固定化せず、様々な活動を行えている	年間プログラム計画案作成し、それに伴い毎月の活動計画を立てています。制作活動は季節感を取り入れるようにしています。	1年間行った活動内容を振り返り、利用児に合わせた活動内容に更になるように職員間で話し合いを行うと共に活動を行う目的や目標を明確にし職員共有も行っていく。
2	安心して通える事業所づくり	利用児が、安心して過ごす事が出来る居場所になるように意識しています。	活動内容に興味や楽しみをもって通ってこれるような活動が提供できるようにしていく。支援カードなどを充実させコミュニケーションなどが取りやすい環境を整える。
3	事業所が掲げる支援目標に従事した支援	職員間での支援目標の共有、利用児の様子など変化などあった際の共有など全体で様々な事を共有して支援が行えるように意識しています。	全体での共有体制を整える。支援目標を意識した支援が出来ているか振り返る時間を多く取れるように計画を立てるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室で完結できる活動内容が多く、地域交流を行うことができていない	職員の入れ替えが激しく、日々の療育を安全に行っていくことだけになってしまっていた。	安定した職場環境を目指し、地域の活動に参加できるように児童館や公民館などと連携を図っていく
2	保護者会やペアレントトレーニングなどの保護者様に向けた取り組みを行えていない	職員の入れ替えが激しく、日々の療育を安全に行っていくことだけになってしまっていた。	保護者会を通して保護者様の悩みなどをお聞きし、利用者様の生活に役立てることができるような取り組み、研修を設定していく。
3	マニュアル等の整備を行えてはいるが、保護者様に認知されていない	保護者会等を行えていないため	今年度に保護者会を行う予定なので事前に保護者様に通知し、より多くのご家庭に教室のことを知っていただけるように取り組んでいく。

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ネクストエール小金井本町教室
------	----------------

公表日 令和7年3月 15日

利用児童数 34名 (内兄弟3家庭)

回収数 26

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25			1	実際の活動の様子を見ることがないが、活動内容と子どもが楽しんで帰ってくる様子を見る良い環境で過ごせていると感じる活動をしているところを見たことがないためわからない	お子様が活動している様子につきましてはプライバシー保護の観点により設けておりませんでしたが、検討させていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	3		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	4	6	14	関わりがなくても特に問題はない 交流はなくてよい	図書館や児童館は検討しておりますので、今後機会を設けていければと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	6	5	14	無くとも特に問題はない	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	3		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7	10	8	無くとも特に問題はない 父母会や兄弟向けのイベントに必要性を感じていない 現状で満足	

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		5		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2	1	2		保護者様、お子様に応じた対応やを心がけてはおりますが、今後より慎重に行つていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	4		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		3	一部されていると思うが、わからないものもある	マニュアル等は教室にて整備されていますが、ご覧になる機会がないと思いますので保護者会等で見ていただければと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	3	1	3	発生していないのでわからない	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1		1	お兄さんたちに囲まれて少しドキドキしている面もある 毎回楽しみにしている ネクストエール行く!と喜んで伝えてくれるようになった。楽しんで通所できてよかったです。	ありがとうございます。 今後も楽しみに通えるように環境整備を心がけてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1		1	将来的に参観や支援サービス等が増えてくれればうれしい	将来的に検討させていただきます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ネクストエール小金井本町教室				公表日	令和7年 3月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		気持ちが不安定になった時は相談室を使うかどうか提案している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	終礼や引継ぎノートを用いて、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	ネクストエール本部への研修も複数回受けられたので学べた。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ネクストエール本部に確認していただいて、支援プログラムを作成しております。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	終礼や引継ぎノートを用いて、共有に努めている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	3	該当児童がいないため行えていない。 該当児童が利用していた場合は、提供を行っていく。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3	公園等で関わる機会がある。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		そのような機会がなかったため、機会があれば参加します。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や面談等でお困りごとをお聞きし、支援に繋げている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		保護者様が参加できる研修の機会を設けられるように検討していく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		初年度で行えていないが、来年度は保護者会を検討しています。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約している児童の食物アレルギーは一覧にし、おかしの提供時も間違いが起きないように買わないようにしている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			